

2020年12月18日
住友生命保険相互会社

アフリカ輸出入銀行向け COVID-19 対応関連投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、株式会社日本貿易保険（以下「NEXI」）が保険を提供するアフリカ輸出入銀行向けの融資スキームに約 50 億円投資することを決定しました。

アフリカ輸出入銀行は、アフリカ内外の貿易促進に向けて、貿易金融・プロジェクトファイナンス、信用保証の供与、情報・アドバイザー支援を行う多国籍金融機関であり、アフリカ諸国政府、アフリカの官民の機関投資家、アフリカ域外の金融機関・民間投資家によって構成されています。2019 年度末時点での総資産は 144 億ドルであり、アフリカの 51 カ国が加盟しています。

今年 3 月、アフリカ輸出入銀行は、新型コロナウイルスの拡大によるアフリカ諸国における経済面・健康面での影響を緩和するために、30 億米ドルの新型コロナウイルス関連の融資枠（PATIMFA）を設定しました。本件を通じて調達した資金は、PATIMFA を含む新型コロナウイルス対策関連プロジェクトに充てられます。これらのプロジェクトは NEXI が設定する環境ガイドラインに照らして事前に承認されたものに限られています。

住友生命は、アフリカ輸出入銀行および NEXI への協力を通じて、新型コロナウイルス対策や SDGs の達成に貢献することを期待して、本スキームへの投資を行っています。

< 本件の概要 >

原債務者：アフリカ輸出入銀行（Moody's 格付：Baa1、Fitch：BBB-）

保険者：株式会社日本貿易保険（日本政府 100% 出資）

当社投資額：約 50 億円

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「社会になくってはならない保険会社」の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、ESG 投融資をその主要な取組みの 1 つとして位置づけ、持続可能な社会の実現および中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、本スキームへの投資はその一環として行うものです。

今後も、ESG 投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでまいります。

以上